



矢巾町岩手ビッグブルズアリーナ開館



高橋町長

本県のプロバスケットボールチームの拠点となる。ビッグブルズには、地域と共に歩むチームとして、B3 優勝、そしてB2、B1 とトップリーグを目指してほしい。アリーナ開館を機に、スポーツのまちとして、スポーツを通してさらに町を盛り上げていく。



みずのさとし 水野哲志 社長

今年でチーム創設 10 周年。この節目に専用アリーナを整備でき、うれしく思う。Bリーグの中でも専用の練習場を持つチームは少ない。集中して練習に専念できる申し分ない環境。地域とともに歩むことを目標としており、勝つことで、町に良いニュースを届けたい。



よしだゆうま 吉田優磨 ヘッドコーチ

B1、B2 でも専用練習場を持つチームは少ない。たくさんの方々に協力いただいた分、しっかりと結果で、B3 優勝という形で恩返ししたい。町の皆さんを元気にできるような試合を展開していくため、チーム一丸となって、このアリーナで切磋琢磨していく。



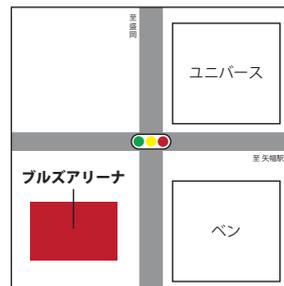
いとうりょうた 伊藤良太 主将

全員が集中して練習できる環境。昨年コロナ禍で苦しい思いをしたが、今はB3 優勝に向けて取り組んでいる。子ども向けの教室なども計画しており、リーグで結果を出すとともに、地域に愛されるチーム、アリーナとしていきたい。

アリーナ活用へ、期待と決意

バスケットボールのB3リーグに所属する岩手ビッグブルズの専用練習場「矢巾町岩手ビッグブルズアリーナ」の整備が完了し、1月からチームによる練習がスタートしました。1月8日には、開所式が行われました。同チームの練習拠点の設置は県内初。本町を練習拠点として試合へ臨むことに加え、町内中学校のバスケットボール部への指導、選手と地域住民との交流事業の実施なども計画されています。今後の活躍、地域での取り組みにご注目ください！

※イベントなどの開催時以外、チーム関係者以外の入館はできません。





新施設で選手ら躍動

1月8日に行われた開所式で、アリーナ内部と選手たちの練習が公開されました。アリーナには主な練習会場となるコート設備の他、各種器具を取りそろえたトレーニング室(写真右下)も完備されています。



マスコットキャラクター
「BULLZO (ぶるぞー)」

広報やはば、やはラヂ！は新コーナーの「岩手ビッグブルズアンテナ」を設けて、選手紹介や試合日程、バスケットボール教室の開催など、最新情報を発信します。広報やはばは3月号から、やはラヂ！は2月から毎月掲載・放送予定です。

B3リーグ

▼位置付け

Bリーグ最上位のB1、B2の各リーグに次ぐ、3部相当のリーグ。

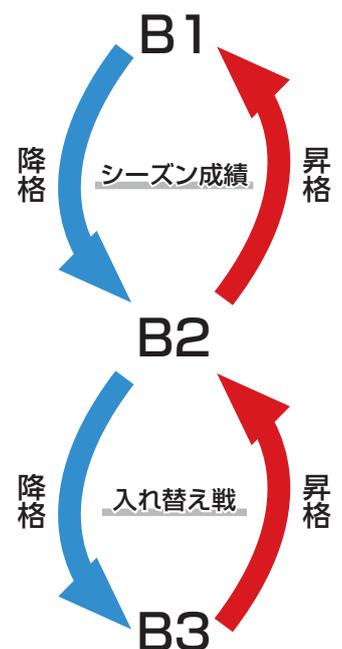
現在開催中の2020-21シーズンの構成はB1が20チーム、B2が16チーム、B3が11チーム。

▼リーグの仕組み

総当たりのリーグ戦が行われ、上位チームが毎シーズン後の「入れ替え戦」に出場。B2下位チームとの試合に勝利すれば、B2昇格。

この他、B3に新規チームが参入する場合があります。

※今シーズンは昇降格なし。



※リーグのイメージ